

**近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録**

第208回

令和8年1月29日

日 時 令和8年1月29日(木) 16時00分から

場 所 近畿運輸局 会議室(船員部会室)

出席者 公益委員 横見委員(WEB)、定岡委員、三輪委員、
安達委員

労働者委員 浦委員(WEB)、佐藤委員(WEB)、小林委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員(欠)、開委員

運 輸 局 寺地海事振興部長(欠)、三浦海事振興部次長、
大樽船員労政課長、矢野船員労政課専門官、
濱田船員労働環境・海技資格課長

議題1. 管内の雇用等の状況について

議題2. その他

議 事 概 要

定岡部会長代理：

それでは、ただ今から第208回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第207回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思っております。ご異議ございませんか。

(異議なし)

定岡部会長代理：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

次に、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

大樽船員労政課長：

それでは「令和7年12月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、62人（前月比+7人、12.7%の増、前年同月比：+15人、31.9%の増）となっています。

月間有効求人数は、186人（前月比+2人、1.1%の増、前年同月比：+32人、20.8%の増）となっています。

②求職関係

新規求職者数は13人（前月比+4人、44.4%の増、前年同月比：+2人、18.2%の増）となっています。

月間有効求職者数は42人（前月比±0人、増減なし、前年同月比+16人、61.5%の増）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、0人（前月比：-2人、100%の減、前年同月比：-4人、100%の減）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員0人、機関部職員0人、甲板部部員0人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

2. 新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員58人（甲板部30人、機関部28人、無線部0人、事務部0人）、部員4人（甲板部4人、機関部0人、無線部0人、事務部0人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員4人（甲板部2人、機関部2人、無線部0人、事務部0人）、部員9人（甲板部6人、機関部2人、無線部0人、事務部1人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が0人、定年退職0人、雇用期間満了0人、本人の申し出6人、自己の健康0人、倒産0人、就労中3人、不明4人となっています。

③新規求職者の年齢別

30歳未満5人、30歳代2人、40歳代3人、50歳代1人、60歳以上2人となっています。50歳以上は3人で占める割合は23.1%、30歳未満の占める割合は38.5%です。

3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は20人で、基本手当の支払実人数は3人、給付件数は3件となっています。給付金額は405,394円です。前月は4人、給付件数は5件、給付金額は472,143円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件、0円、再就職手当が3件、2,062,494円、就業促進定着手当が0件、0円、その他が0件、0円。よって、当月支給額計は、2,467,888円となります。

4. 月間有効求人倍率の推移

12月の近畿船員は4.43倍で、前月比+0.05ポイント、前年同月比、-1.49ポイントとなっています。

5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は186人で、このうち、新規求人者数は62人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は0人、他局成立は0名でございました。求人の取り消しは83人で、理由の内訳は有効期限切れ74人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ9人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は42人で、前月との差は0人でした。

当局の紹介による求職側の成立は0人、他局成立は0人でした。求職の取り消しは9人で、理由の内訳は期限切れ8人、自己応募・縁故により採用0人、自己都合により取り下げ1人、その他0人となっています。

6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①11月の全国の月間有効求人数は、3,195人で、前月比103人減の96.9%、前年同月比80人減の97.6%となっています。

②11月の全国の月間有効求職数は、601人で、前月比62人減の90.6%、前年同月比18人増の103.1%となっています。

③11月の全国の成立数は、36人で、前月比2人減の94.7%、前年同月比10人減の78.3%となっています。

④ 11月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.86倍となっています。全国陸上は季節調整値により1.18倍となっています。以上が管内の雇用等の状況でございます。

定岡部会長代理：

ありがとうございます。

資料1、2についてご質問等ございますでしょうか。

定岡部会長代理：

無いようですので、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、令和7年11月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比102%となっております。

地域によっては前年同月よりも荒れた天候の影響が見られ、輸送障害が発生したようです。

前月に、荒天の影響で輸送障害が発生し、今月に繰り越された貨物があったようです。

貨物船は 鉄鋼、燃料（石炭、コークス）、紙・パルプ、自動車は増加
原料、雑貨は減少、セメントは前年同月水準

油送船は 黒油以外の品目において増加のようです。

11月の貨物船の輸送量は、前年同月比102%、前月比で100%となっています。

鉄鋼は 108%、前月は荒天が続いたため、輸送障害が大きく、今月に繰り越される貨物が発生したため増加となったようです。

原料は 99%、スラグ、その他原材料は増加したが、石灰石、非金属鉱、金属鉱は減少したため原料全体で微減の結果となったようです。

なお、石灰石は一部で設備の定期修理が見られたようです。

燃料は 102%、石炭は引き続き増加が見られたが、コークスは減少となったようです。

紙・パルプは 113%、紙、木材は増加で、パルプは減少のようです。木材については、電力向けのバイオマス燃料が前年同月に減少しており、今月は反動増となり全体を押し上げたのもあったようです。

雑貨は 97%、一部の RORO 船において船員不足により運航が出来ていないためマイナスが見られた航路があったのと、全体から見れば僅かではあるが、前月に引き続き、飲料会社のサイバー攻撃による出荷停止の影響が見られたようです。

自動車は 104%、前年同月は一部メーカーで製品の生産停止があり出荷の停滞から減少となっていたため、今月は反動増が見られたようです。

セメントは100%、引き続き、働き方改革の浸透により出荷が低調に推移しているようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比 101%で、前月比 104%となっています。

黒油（こくゆ）は 93%、一部の元売りの設備で大規模なメンテナンスがあり製油所間転送は増加したが、前月に引き続き、油槽所の開放点検期間延長の影響があり全体では減少で推移したようです。

白油（はくゆ）は 101%、灯油、ジェット燃料の輸送増で、白油全体で微増となったようです。また、黒油同様に一部元売りの設備で大規模なメンテナンスがあり製油所間転送が見られたようです。

それでは次に、貨物ごとの状況です。11月の対前年比欄と、右側の対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼の前年比は、	108.4%	で、	前月比	111.9%
原料の前年比は、	98.6%	で、	前月比	96.7%
燃料の前年比は、	102.4%	で、	前月比	94.9%
紙・パルプの前年比は、	112.7%	で、	前月比	93.4%
雑貨の前年比は、	96.9%	で、	前月比	94.2%

自動車の前年比は、 104.3%で、 前月比 99.7%
セメントの前年比は、 99.9%で、 前月比 101.9%
貨物船全体の輸送量は、1,722万5千トンで
前年比が、102.0%で、 前月比 100.1%となっています。

黒油（こくゆ）の前年比は、 93.2%で、 前月比 101.1%
白油（はくゆ）の前年比は、101.2%で、 前月比 105.0%
ケミカルの前年比は、 111.9%で、 前月比 97.8%
一般タンカーの輸送量は、725万1千トンで
前年比が、100.0%、 前月比 103.3%となっています。

続きまして、

高圧液化の前年比は、 110.2%で、 前月比 109.8%
高温液体の前年比は、 104.7%で、 前月比 136.9%
耐腐食の前年比は、 119.6%で、 前月比 100.0%
特タン船の輸送量は、105万5千トンで
前年比が、113.3%で、 前月比 107.3%となっており、
全てのタンカーの合計は、830万6千トンで
前年比が、101.5%で、 前月比 103.8%となっています。

次に資料5、令和7年11月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

11月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、12,002台となっており、前月比が 84.3%、
前年比 89.8%

北九州方面では、30,216台となっており、前月比が 87.6%、
前年比 85.0%

中九州方面では、11,879台となっており、前月比が 91.4%、
前年比100.6%

南九州方面では、12,875台となっており、前月比が116.8%、前年比101.6%となっています。

次のページの「旅客」では、

北海道方面では、

12,354人となっており、前月比が86.9%、前年比128.3%

北九州方面では、

79,540人となっており、前月比が90.3%、前年比88.7%

中九州方面では、

43,711人となっており、前月比が98.5%、前年比113.7%

南九州方面では、

30,786人となっており、前月比が115.1%、前年比106.3%

となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、

北海道方面では、

3,071台となっており、前月比が54.1%、前年比108.6%

北九州方面では、

25,048台となっており、前月比が93.6%、前年比96.1%

中九州方面では、

6,414台となっており、前月比が98.2%、前年比122.0%

南九州方面では、

8,237台となっており、前月比が111.5%、前年比105.0%

となっています。

次のページの折れ線グラフは、輸送種類別を月別に作成したものです。

これをみると、10月から2月にかけて、輸送実績が全体的に減少の傾向になるようですが、

その中で、旅客輸送と乗用車輸送は、令和6年並びのようで、トラック輸送は、ここ数年の中で低い数値になっているようです。

- ・令和8年度海事局関係予算決定概要（説明）
- ・第2回船員養成・就業拡大に向けた訴求強化戦略策定検討チーム（説明）

定岡部会長代理：

ありがとうございました。

それでは、これまでの説明についてご質問等ございますでしょうか。

三輪委員：

最後に説明いただいた予算について、海事行政のDX推進として、監査情報や船員情報等、データベースを作るということは理解できるのですが、一方でこの船員部会で以前から問題になっている仮バースについての手続き等の別の省庁かもしれませんが、DX化される、もしくは検討しているなどの情報はないのでしょうか。

三浦海事振興部次長：

港湾局でデジタル化の動きについては、コンテナバース関連だけだったと思います。全体的な計画については、把握はしておりませんが、まだ無いかと思います。また何か情報がありましたら、報告したいと思います。

三輪委員：

ありがとうございます。

定岡部会長代理：

はい、ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

定岡部会長代理：

それでは次に、改正船員法に基づく基本訓練について、船員労働環境・海技資格課よりご説明をお願いいたします。

- ・改正船員法に基づく基本訓練について

濱田船員労働環境・海技資格課長（説明）

定岡部会長代理：

ただ今の説明につきまして、何かご質問等がございますか。

安達委員：

座学と実技はどちらが大変ですか。

磯合委員：

実技は、先に指定施設の日程を確保した上に受講する乗組員の受講予定を合わせないといけないので各船会社の担当者は、大変苦慮しています。

座学は、会社が行うので、テキストを使ってオンラインでも可能です。

三輪委員：

生存訓練とか消火訓練については、商船系大学のカリキュラムの中に免許講習科目として入っていて、実際に行っています。実技となると非常に大変で、ライフジャケットを着て飛び込み、ライフラフト、救命筏を展開して乗り組みを行う等の訓練を行うのですが、対応できるプールが少なく、実施するのに苦慮しております。実技訓練が必要となったときに、学校内のポンドで行うことを検討したのですが、芦屋周辺の水路から流れて来るので、水が濁っていて水質が非常に悪く、神戸市環境衛生課に問い合わせると、海水に暴露した後はしっかりとうがい、目を洗ってくださいといった衛生指導を受けました。昨年からは、学内のプールを使ってやることになったのですが、プールにいろいろなものをいれることから、今度はプールの水の浄水が必要になるということで、プール管理教員の協力を得て、水の入れ替え時期とかのタイミングを見ながら実施しています。

消火訓練については、炭酸ガス消火器、泡消火器や粉末消火器など、決められた消化器を使って、オイルパンにガソリン入れて、実際の火災を想定した火をおこして実施するのですが、近隣の工場等に、消火訓練についての事前連絡を行っておりますし、消防局にも火炎上昇届を出して、終了後にも報

告をおり、実施に向けた準備等もなかなか大変だなと思います。特に消火訓練がひどいのですが、熱中症対策もしっかりやるように気をつけております。船員の訓練施設となると、頻度が違うので非常に厳しい状況だと感じています。

磯合委員：

実技を受講させる乗組員の場合は、乗下船のサイクルの中で訓練の日を合わせていかないといけないのですが、その調整が難しいかと思います。

開委員：

5年ごとですので、毎年何十人となるとまとまって複数人での実施となります。

定岡部会長代理：

はい、ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

定岡部会長代理：

それでは次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

定岡部会長代理：

では続いて、使用者委員のほうから何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

定岡部会長代理：

では続いて、公益委員のほうから何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

定岡部会長代理：

事務局のほうからはいかがでしょう。

大樽船員労政課長：

1枚もので、「めざせ！海技者セミナー IN K O B E」の案内について配布させていただいております。これは、海運事業者による企業説明会および就職面接会で、2月8日（日）に神戸ポートアイランドの神戸国際展示場第3号館で開催いたします。入場無料で予約も不要となっております。

神戸運輸監理部がメインとなって調整していただいておりますが、参加企業が、125社ということで、昨年より大幅に増加しております。今年も申し込まれた企業様が全て参加していただけるように大きな会場を借りました。内容的には、他に、現役女性船員の声を聞く座談会や各種資格訓練の相談コーナー、若年船員未経験者への動画等による船員のお仕事説明コーナーもあるとお聞きしております。

水産系高校の学生さんや練習船の実習生、海技大学校の学生さんを含めた求職者の方が多く会場に来てくださることが見込まれている状況であることをご報告させていただきます。

定岡部会長代理：

はい、ありがとうございます。ほか、いかがでしょう。

定岡部会長代理：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は2月26日（木）16時00分からとなっておりますので、皆様よろしく願いいたします。

（配付資料）

資料1．令和7年12月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和7年12月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

- 資料 3. 令和 7 年 1 1 月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等
- 資料 4. 内航輸送実績状況（令和 7 年 1 1 月分まで）
- 資料 5. 長距離フェリー輸送実績の推移（令和 7 年 1 1 月まで）
- 資料 6. 令和 8 年度海事局関係予算決定概要
- 資料 7. 第 2 回船員養成・就業拡大に向けた訴求強化戦略策定検討チーム
- 資料 8. 改正船員法に基づく基本訓練について